

# 投資信託説明書 (交付目論見書)

使用開始日 2018.12.8



## 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

〈愛称:夢実月〉

追加型投信／海外／債券

※ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	債券	その他資産	年12回 (毎月)	オセアニア	ファミリー ファンド	なし

※属性区分の「投資対象資産」に記載されている「その他資産」とは、投資信託証券(債券 公債 クレジット属性(高格付債))です。

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でご覧いただけます。

- 本書は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードできます。
- 本書には、約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認します。
- ファンドの財産は、信託法に基づき受託会社において分別管理されています。
- 請求目論見書は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。(請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようお願いいたします。)

この目論見書により行う「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2018年6月7日に関東財務局長に提出しており、2018年6月8日に効力が生じております。

### 委託会社:三菱UFJ国際投信株式会社

ファンドの運用の指図等を行います。

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第404号

設立年月日:1985年8月1日

資本金:20億円

運用投資信託財産の合計純資産総額

14兆473億円  
(2018年9月28日現在)

ホームページアドレス

<https://www.am.mufg.jp/>

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034 (受付時間:営業日の9:00~17:00)

### 受託会社:三菱UFJ信託銀行株式会社

ファンドの財産の保管・管理等を行います。

# ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

豪ドル建ての公社債を実質的な主要投資対象とし、信用度の高い公社債に分散投資することにより、利子収益の確保と値上がり利益の獲得をめざします。

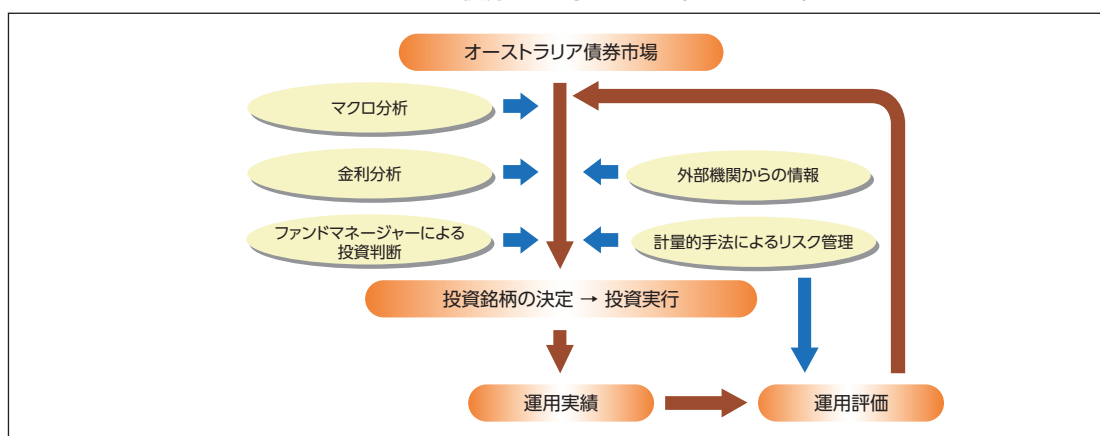
## ファンドの特色

特色

1 高格付けの豪ドル建ての公社債を実質的な主要投資対象とします。

- 信用度の高い公社債に分散投資します。
- 投資する公社債は一般的にソブリン債といわれている債券(国債、政府機関債、州政府債、国際機関債、政府保証債等)とします。
- 投資する債券の信用格付けは原則として「AA-」格(S&Pグローバル・レーティング(S&P)) / 「Aa3」格(ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's))以上とします(オーストラリアの国債、政府機関債は除く)。
- 原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

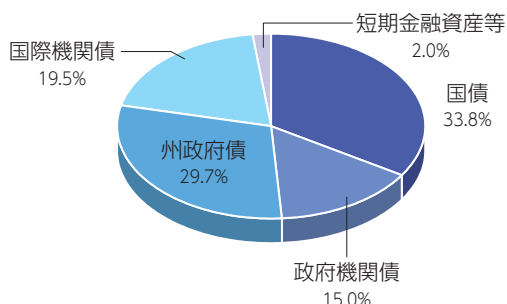
<オーストラリア債券の運用プロセス(イメージ図)>



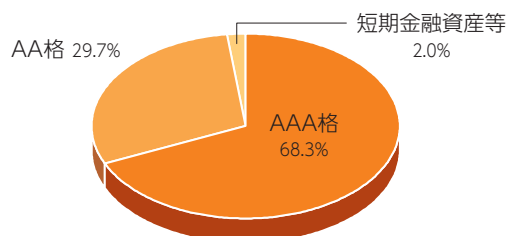
1 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

📄 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>)でご覧いただけます。

種別別組入比率(2018年9月28日現在)



格付け別組入比率(2018年9月28日現在)



・格付けの振分基準は以下の通りです。

AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)

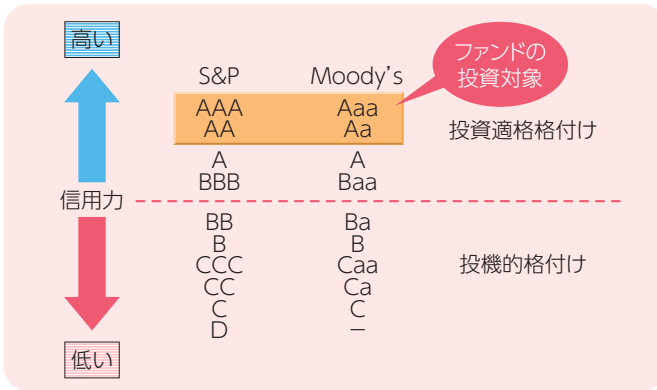
・原則として、個別銘柄格付けを採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、委託会社の分類基準に基づいて、ソブリン格付け(国の発行体格付け)を採用しているものがあります。

・格付け別組入比率は、S&P、Moody'sのうち最も低い格付けを表示しています。

・上記比率は純資産総額に対する割合です。なお、四捨五入の関係で上記の数字を合計しても100%にならないことがあります。

1 上記のグラフ・数値等は、過去の実績であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。

<信用格付けとファンドの投資対象>



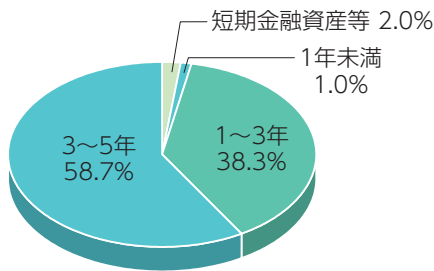
■ 格付けとは

債券の中長期的な元本・利子の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。  
S&PのAAからCCCまでの格付けには「+、-」、Moody'sのAaからCaaまでの格付けには「1、2、3」という付加記号を省略して表示しています。



ポートフォリオの平均デュレーションは1年以上5年以内とします。

残存期間別組入比率 (2018年9月28日現在)



・上記比率は純資産総額に対する割合です。なお、四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

デュレーション・残存期間・利回り (2018年9月28日現在)

デュレーション	2.87年	最終利回り	2.28%
平均残存年数	3.18年	直接利回り	3.62%

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。
- ・この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

- ❗ 上記のグラフ・数値等は、過去の実績であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- デュレーションとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。この値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。



毎月8日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。

- 債券の利子収益や売買益(評価益を含みます。)等を原資として、分配金をお支払いします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。

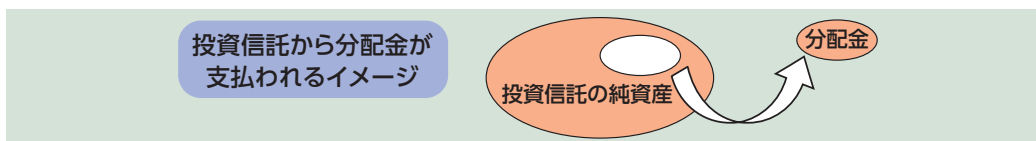
<分配金の支払いのイメージ>



- ❗ 上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



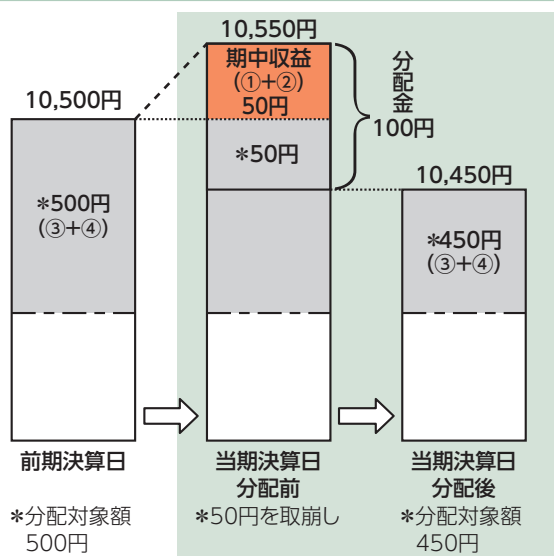
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

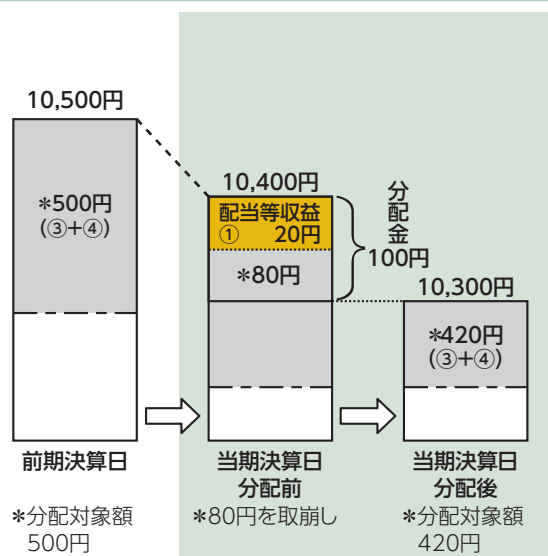
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



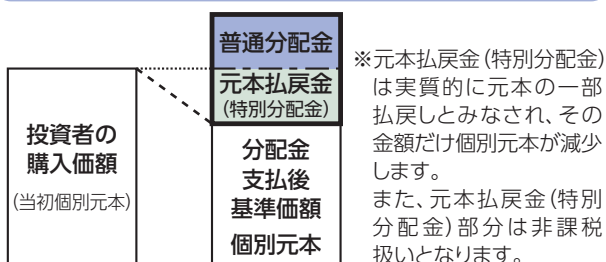
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

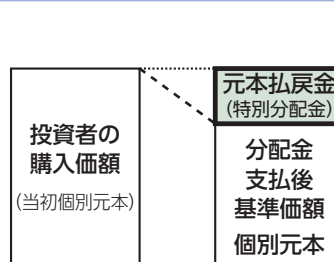
- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



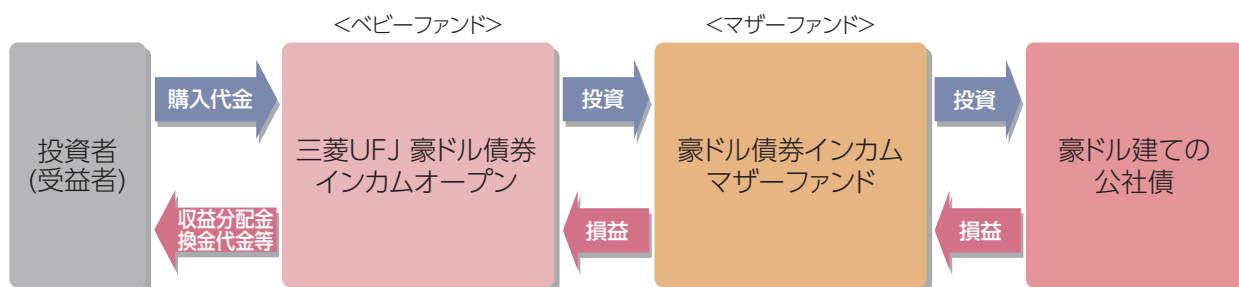
普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

## ■ファンドの仕組み

運用は主に豪ドル債券インカムマザーファンドへの投資を通じて、豪ドル建ての公社債へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



## ■主な投資制限

外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
デリバティブ	デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

### <信用格付会社等の提供する格付け等の情報について>

本書において格付等の情報を提供する信用格付会社等の第三者は、格付等の情報についての正確性、完全性、適時性または入手可能性を保証するものではなく、理由の如何を問わず、過失その他による誤り若しくは脱漏またはかかる内容を利用して得られた結果についての責任を負いません。第三者たる内容提供者は、市場性または特定の目的や利用への適合性についての保証を含め(これに限られません。)、明示黙示を問わずいかなる保証も行わず、本書において提供されている情報の内容の利用に関して、直接、間接、付随的、懲戒的、補償的、懲罰的、特別的若しくは結果的に生じた損害、費用、経費、弁護士費用または損失(逸失利益若しくは収益および機会費用を含みます。)について、いかなる責任または債務も負わないことをここに明示します。信用格付は意見の表明であり、事実の表明でも、またいかなる金融商品の購入、保有または売却を勧奨するものでもありません。信用格付は金融商品の適格性や金融商品が投資目的に合致していることを示すものではなく、投資助言として依拠すべきものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

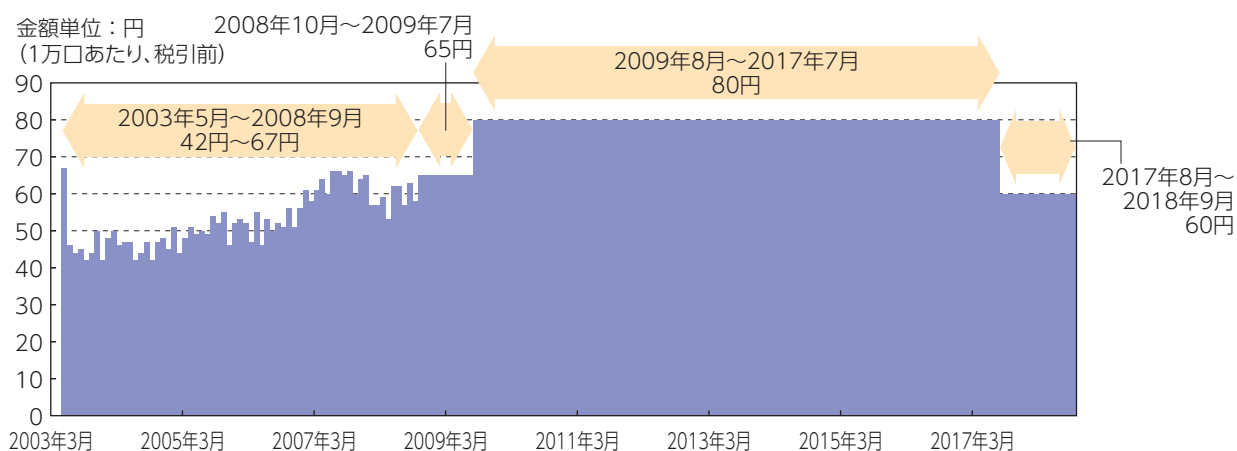


## 基準価額と為替の推移(期間:2003年3月14日(設定日)～2018年9月28日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- ・円/豪ドル為替レートは三菱UFJ銀行が公表している対顧客電信売買相場の仲値です。

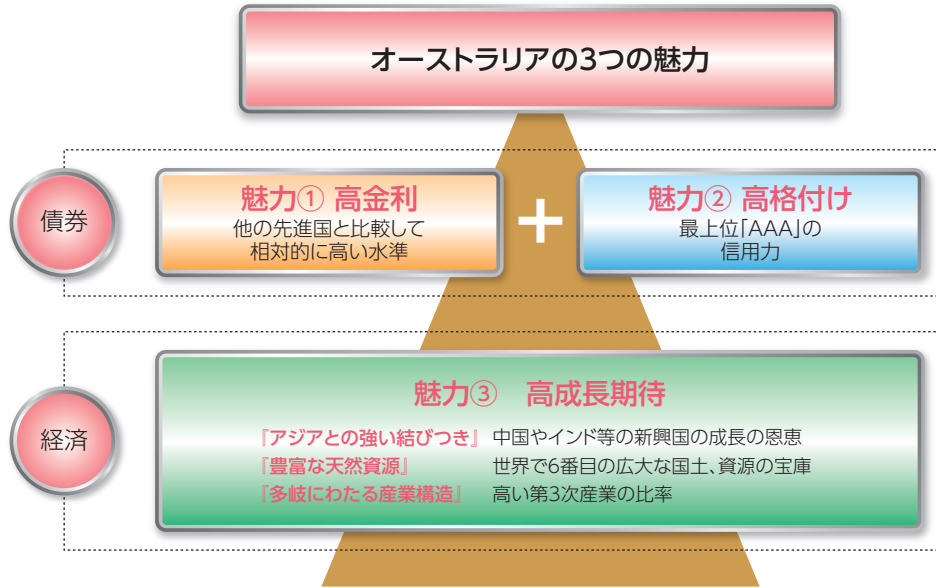
## 分配金実績(期間:2003年3月14日(設定日)～2018年9月28日)



・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

上記のグラフ・数値等は、過去の実績であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

# オーストラリアについて



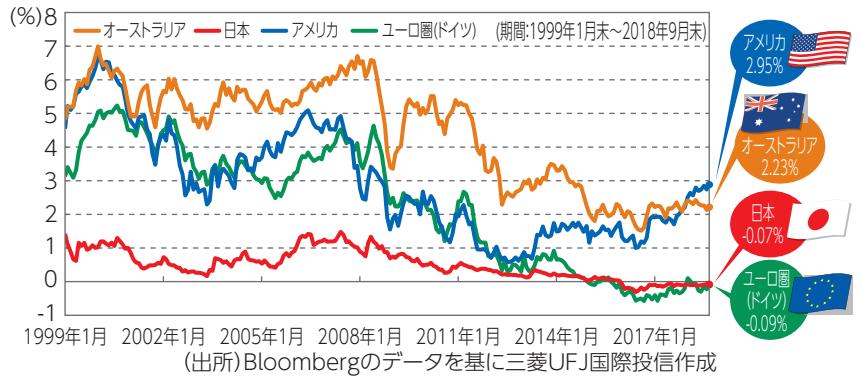
## オーストラリアの魅力1 高金利

オーストラリアの金利は他の先進国と比較して相対的に高い水準となっています。

### 各国5年国債利回りの推移

オーストラリアの国債利回りは、先進国・地域の中では高い水準を維持しています。

右記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、為替変動を考慮しておりませんので、外国債券の利回りがそのまま投資成果となるわけではありません。



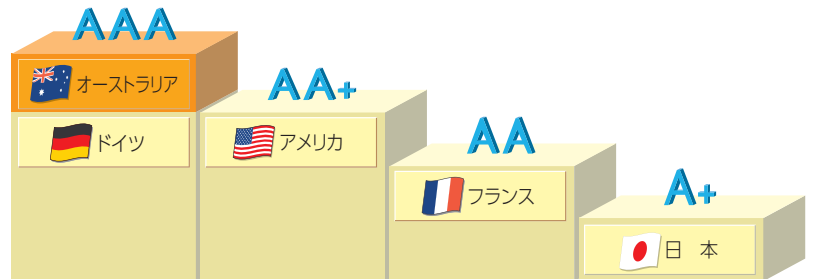
## オーストラリアの魅力2 高格付け

オーストラリアは、最高格付けの「AAA」を取得。主要先進国の中で高い信用力を有しています。

### 信用格付け

オーストラリアの国債は最上位の信用力を有しています。(2018年9月末現在)

格付けは2018年9月末現在のS&Pの国債の自国通貨建長期信用格付けです。なお、右記はS&Pの信用格付けであり、他の信用格付会社の信用格付けは右記と異なる場合があります。長期信用格付けとは、債券の中長期的な元本・利息の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。



本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## オーストラリアについて



# 高成長期待

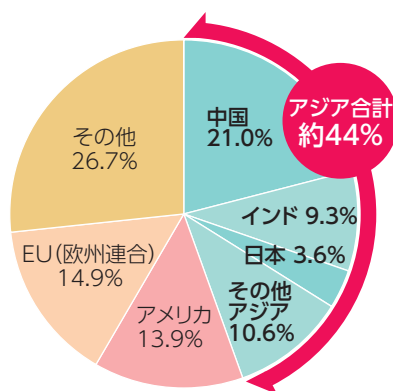
これからの世界経済で比重を増すアジア。その拠点としてオーストラリアがクローズアップされています。

### 『アジアとの強い結びつき』

貿易相手国として存在感を増す中国やインド等の新興国の成長の恩恵を受け、オーストラリアは先進国の中で相対的に高い経済成長を持続する可能性があります。2023年の実質GDP成長率はオーストラリアが2.6%、G7が1.2%です(IMF予想)。

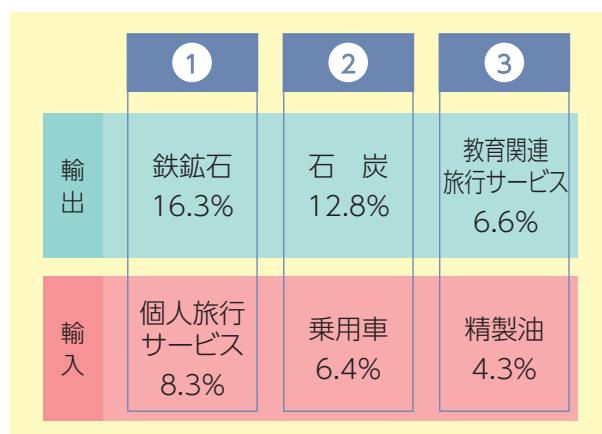
### 世界のGDP (購買力平価ベース) (2023年、IMF予想)

IMFの予想では2023年の世界経済において、アジアのGDPの合計は約44%を占めます。これは、アメリカとEU(欧州連合)の合計を凌ぐ規模です。



- ・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・GDP(購買力平価ベース)とは、GDPを実質比較するために、国家間の物価水準における差を除去することによって求められるGDPのこと。
- (出所) IMF World Economic Outlook Database October 2018のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

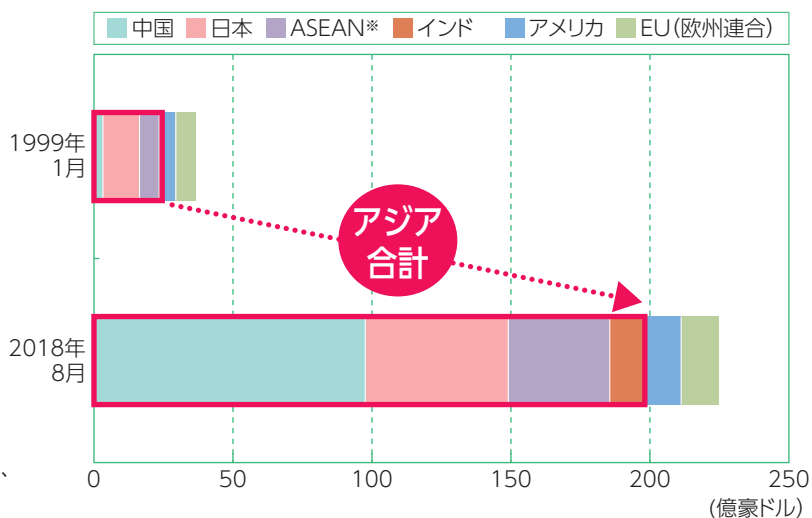
### オーストラリアの主要貿易品目(2016年暦年)



(出所) 外務省の資料を基に三菱UFJ国際投信作成

## オーストラリアの対外輸出の状況

近年、中国などを中心とした、アジアへの輸出額が伸長していることから、アジアの発展に伴う輸出額の増加が期待できます。



※ASEAN: 東南アジア諸国連合。通称アセアン。加盟国は、インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの10カ国(2018年8月末現在)。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成



## オーストラリアについて

### 『豊富な天然資源』

日本の約20倍、世界で6番目の広大な国土を有するオーストラリアは、世界における天然資源の宝庫です。

### オーストラリアの主な鉱物資源の埋蔵量と生産量

オーストラリアは豊富な鉱物資源を誇る資源大国です。中国をはじめとする新興国の経済発展は資源需要を増加させると考えられ、資源国オーストラリアの経済に好影響を与えることが期待されます。

[主要鉱物資源埋蔵量]

品目	順位	シェア
鉛	①	39.8%
鉄鉱石	①	28.9%
チタン鉄鉱	①	28.7%
亜鉛	①	27.8%
ニッケル	①	25.7%
金	①	18.1%

[主要鉱物資源生産量]

品目	順位	シェア
鉄鉱石	①	36.3%
ボーキサイト	①	27.7%
チタン鉄鉱	2	14.5%
鉛	2	9.6%
金	2	9.5%
亜鉛	4	7.6%

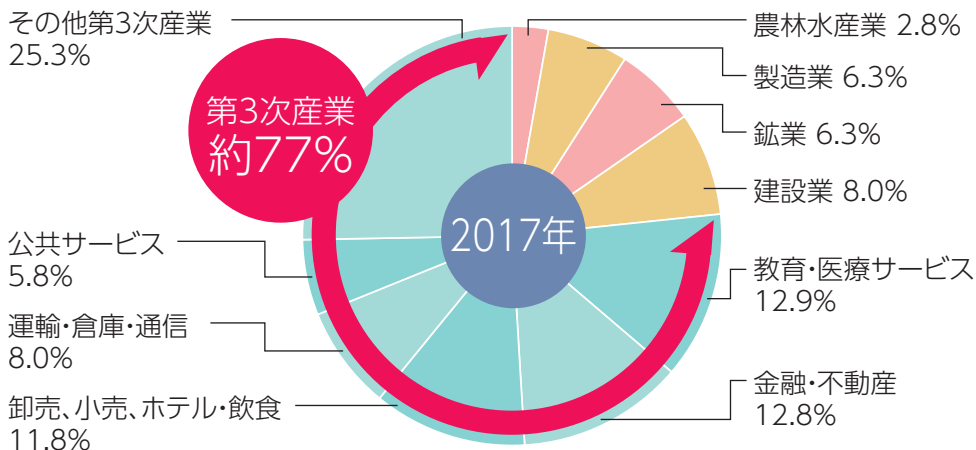
(注) 上記は米国地質調査所 (USGS) 発行の Mineral Commodity Summaries (MCS) のデータを使用、MCSに掲載されている国の中での順位・シェアであり、必ずしも世界順位・シェアを正確に反映しているとは限りません。生産量はMCSの推計値(2017年)、埋蔵量はMCS掲載時点のデータで、新たな鉱山・鉱脈の発見、技術革新等により変更されることがあります。

(出所) USGS「Mineral Commodity Summaries 2018」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### 『多岐にわたる産業構造』

オーストラリアの産業構造は多岐に分散されていますが、第3次産業(金融・サービス業等)の比率が高いことが特徴です。

### オーストラリアの主な産業(実質GDP構成比)



・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
(出所) 国際金融情報センターのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

本見通しあるいは分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。



# 投資リスク

## ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けませんが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

### 価格変動 リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

### 為替変動 リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

### 流動性 リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

## ■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## ■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

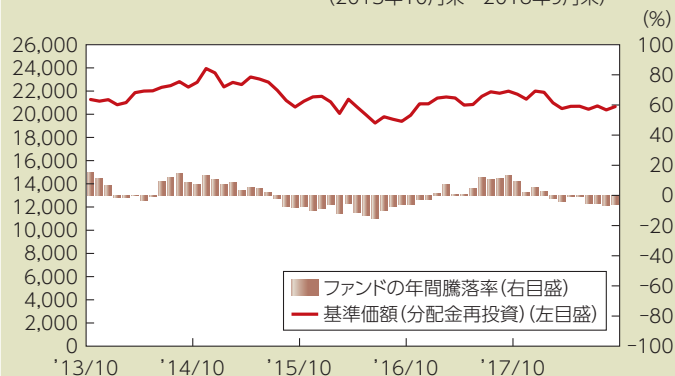
また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

## ■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

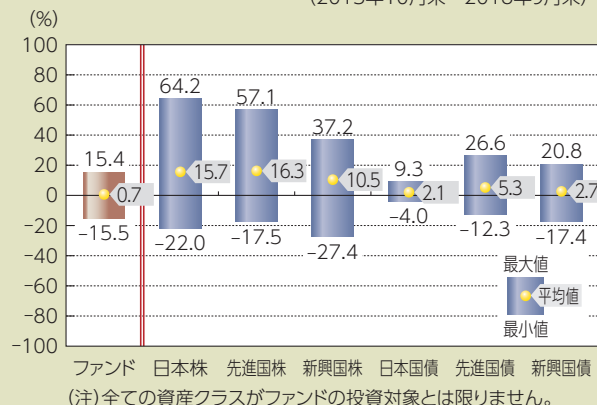
### ● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

(2013年10月末～2018年9月末)



### ● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2013年10月末～2018年9月末)



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	TOPIX(配当込み)	TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPIとは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI(国債)は野村証券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村証券株式会社は一切関係ありません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

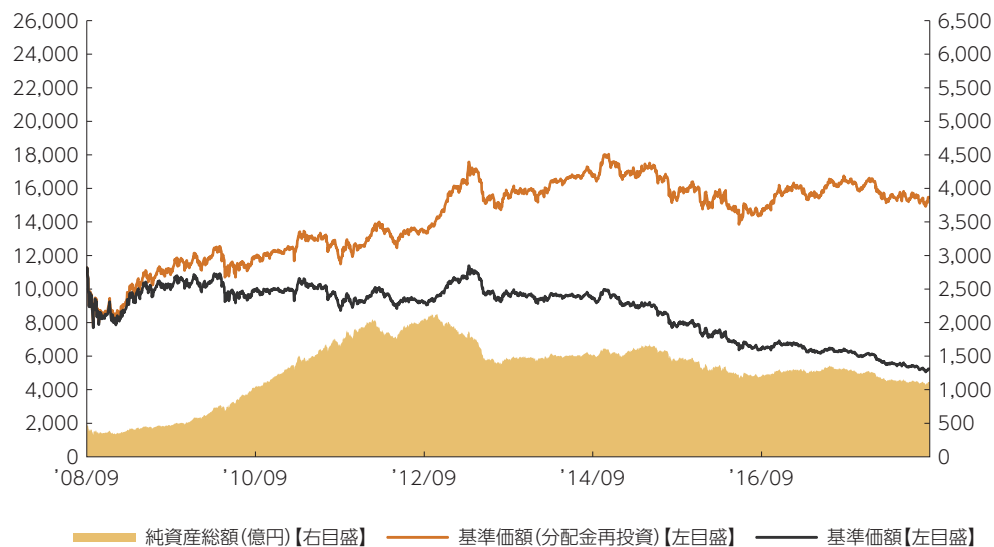
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。



# 運用実績

2018年9月28日現在

## ■基準価額・純資産の推移 2008年9月30日～2018年9月28日



- 基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化
- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

## ■基準価額・純資産

基準価額	5,233円
純資産総額	1,115億円

## ■分配の推移

2018年9月	60円
2018年8月	60円
2018年7月	60円
2018年6月	60円
2018年5月	60円
2018年4月	60円
直近1年間累計	720円
設定来累計	12,610円

•分配金は1万口当たり、税引前

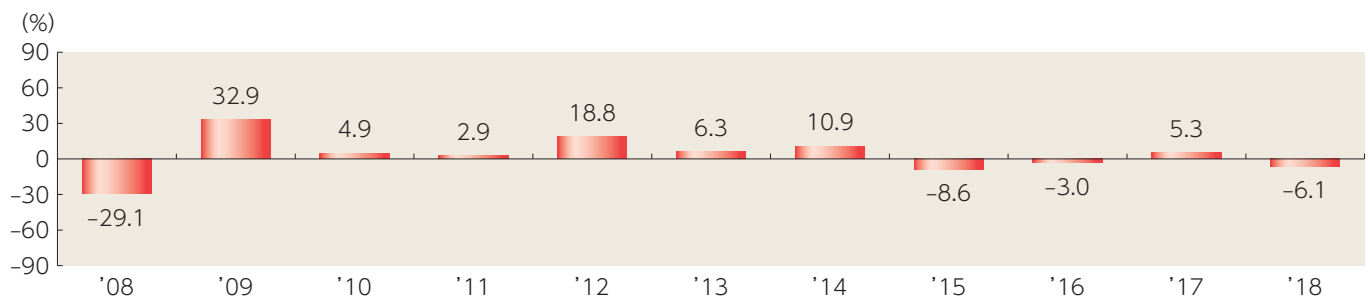
## ■主要な資産の状況

組入上位銘柄	種別	比率
1 5.5 AUST GOVT 230421	国債	9.8%
2 6 QUEENSLAND 220721	特殊債	7.3%
3 2.25 AUST GOVT 221121	国債	5.8%
4 2 AUST GOVT 211221	国債	5.7%
5 1.75 AUST GOVT 201121	国債	5.0%
6 5.75 AUST GOVT 210515	国債	4.7%
7 5.5 QUEENSLAND 210621	特殊債	4.7%
8 2.75 WEST AUST TR 221020	特殊債	4.3%
9 2.5 WEST AUST TRE 200722	特殊債	4.3%
10 7 WEST AUST TREAS 191015	特殊債	3.8%

その他資産の状況	比率
債券先物取引 (売建)	-0.8%

•各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

## ■年間収益率の推移



- 収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- 2018年は年初から9月28日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。



# 手続・手数料等

## ■お申込みメモ

 購入時	購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
	購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
 換金時	換金単位	1万口単位または1口単位のいずれか販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
 申込について	申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・シドニー先物取引所、シドニーの銀行の休業日 ・シドニーにおける債券市場の取引停止日
	申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社へ受付けたものを当日の申込分とします。
	購入の申込期間	2018年6月8日から2019年6月7日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
 その他	信託期間	無期限(2003年3月14日設定)
	繰上償還	以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 ・受益権の口数が10億口を下回るようになった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
	決算日	毎月8日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
	信託金の限度額	5,000億円
	公告	原則として、電子公告の方法により行い、ホームページ( <a href="https://www.am.mufg.jp/">https://www.am.mufg.jp/</a> )に掲載します。
	運用報告書	6ヵ月毎(3・9月の決算後)および償還後に交付運用報告書が作成され、販売会社を通じて知れている受益者に交付されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。	





# 手続・手数料等

## ■ファンドの費用・税金



### ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	支払先	購入時手数料	対価として提供する役務の内容
	販売会社	購入価額に対して、 <b>上限2.16% (税抜 2%)</b> (販売会社が定めます)	ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)			
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.1%</b> をかけた額		

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.134% (税抜 年率1.05%)</b> をかけた額				
	1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (保有日数 / 365)				
	※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。				
	各支払先への配分(税抜)は、次の通りです。				
		取扱純資産総額 <sup>(注)</sup>	委託会社	販売会社	受託会社
		100億円未満の部分	0.5%	0.5%	0.05%
	100億円以上300億円未満の部分	0.45%	0.55%	0.05%	
	300億円以上500億円未満の部分	0.4%	0.6%	0.05%	
	500億円以上1,000億円未満の部分	0.35%	0.65%	0.05%	
	1,000億円以上の部分	0.3%	0.7%	0.05%	
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。					
(注)各販売会社における三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープンおよび三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型)の取扱純資産総額の合計額に応じて配分されます。					
<各支払先が運用管理費用(信託報酬)の対価として提供する役務の内容>					
	支払先	対価として提供する役務の内容			
	委託会社	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等			
	販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等			
	受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等			
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。				

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。



## 税金

税金は以下の表に記載の時期に適用されます。この表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※上記は2018年9月末現在のものです。

※「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。



目論見書を読み解くガイド

<https://www.am.mufg.jp/service/faqpoint/index.html>